「誰でもできるのに９割の人が気づいていない、お金の生み出し方」



著者：今井　孝
出版：幻冬舎
発行：2022年６月22日

テレビ番組やSNSでこの言葉を聞くことが多くなった。2022年度より高校での金融教育が必修化するなど、「お金」に関する知識の需要は高まっている影響だろう。「お金」に関する知識は、今もっとも求められている知識といえるのではないか。商業教育に携わっている私は、日々「お金」に関する知識を教える立場である。この知識については、常日頃思うことがあった。それは、「知らない」ということよりも、「勘違い」していることが多いということだ。例えばそれは、「お金」が悪いイメージをもつものであったり、「お金持ち」のイメージが悪いイメージだったりすることだ。なぜこのようなイメージなのか。おそらくこのことは、私たち教育者の責任であるのだろう。「お金」に関してはトラブルなども多く、教育することといえば、そのようなトラブルに合わない方法や手段だったりするのである。そのような教育ばかりしていては、よいイメージを持たないのは当たり前なのではないだろうか。

そこで、本著の出番だ。本著【誰でもできるのに９割の人が気づいていない、お金の生み出し方】では、この「勘違い」といえる「お金」に関する知識をアップグレードすることができ、「今までは勘違いしていたかもしれない」ということに気づかせ、考えさせてくれる内容になっている。

本著では、まず「お金」とはいったいどのようなものなのかを教えてくれる。「お金」の役割や、私たちはどのようにして「お金」を使用しているのかを改めて学ぶことができる。次に、お金に関する「知識」がある人と、ない人の違いは何なのか。その差がどのような結果を生み出しているのかを教えてくれる。これ以外にも、様々な「お金」に関する疑問や、漠然とした私たちが感じている不安を、本著を読むことによって解決できるだろう。その中でも特にご紹介したい内容として、ここでは第２章【人がお金を払っても『欲しい！』と感じる心理】について、紹介したいと思う。

この第２章では「お金」に関する人の心理が解説されている。特に大切な

心理として、「三大欲求」があるという。ここでの「三大欲求」は食欲などの欲求を示すものではなく、人がお金を払う欲求になる。それは、「お金」「人間関係」「健康」の三つであると紹介されていた。確かに考えてみると、投資の情報やセミナーなど「お金」に関する商材はあふれているし（この本もそうであろう）、最近利用されるようになってきたマッチングアプリや婚活、ブームになることがある占いなども「人間関係」の商品だ。SNSはもちろん、ファッションやアクセサリーなど自己表現するものもこの「人間関係」といえるかもしれない。「健康」に関しては言うまでもない。食品、器具、ダイエットなどの方法など、沢山のことがこの「健康」に当てはまる。私自身も、自分が「お金」をかけている部分の大半がこの欲求にあてはまっていることに気が付いた。しかし、この欲求に対して深く考えたことはなかった。消費者側では、自身の欲求を理解し、分析する必要はあまりないためだ。だが、生産者側ではそうもいかないのだ。この、人がもつ欲求を理解することで、商品、サービスが作られ、「お金」を動かしていることを認識する必要があると著者はいう。この「お金に関する三大欲求」を知り、理解することで、商品やサービスを作る際に大きく役に立つことが理解できた。むしろ知らないと、商品やサービスにならないといっても過言ではない気すら今はしている。

このように「お金」に関する知識は、「なるほどな」とすぐ納得できることや、簡単なことで意外とあふれているのだ。今私たちがもっとも得るべき「お金」の知識や考え方は、この「お金に関する知識は難しい」という思いこみを払拭することなのかもしれない。

起業教育研究会　企画委員
大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校
教諭　堀　学武